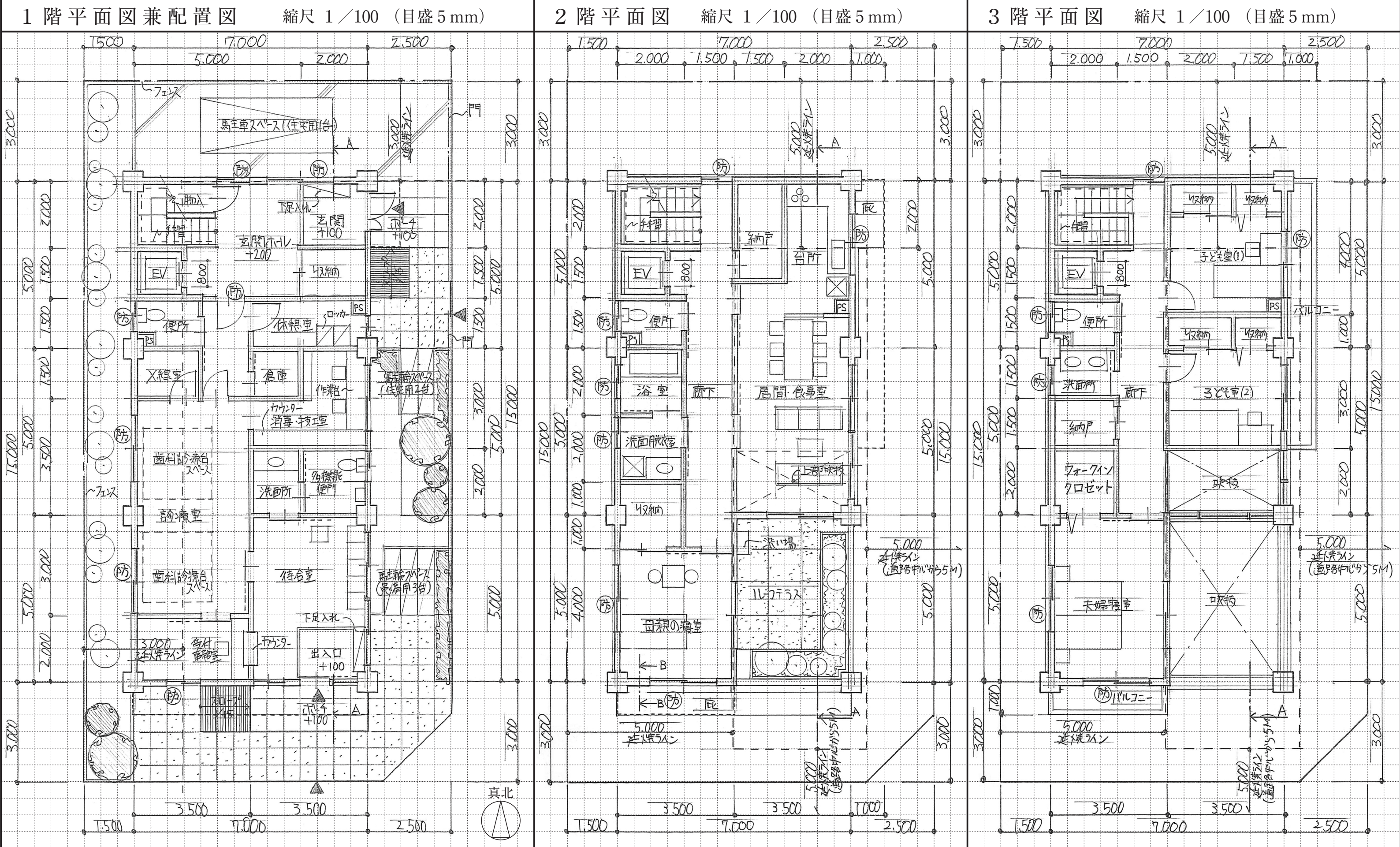




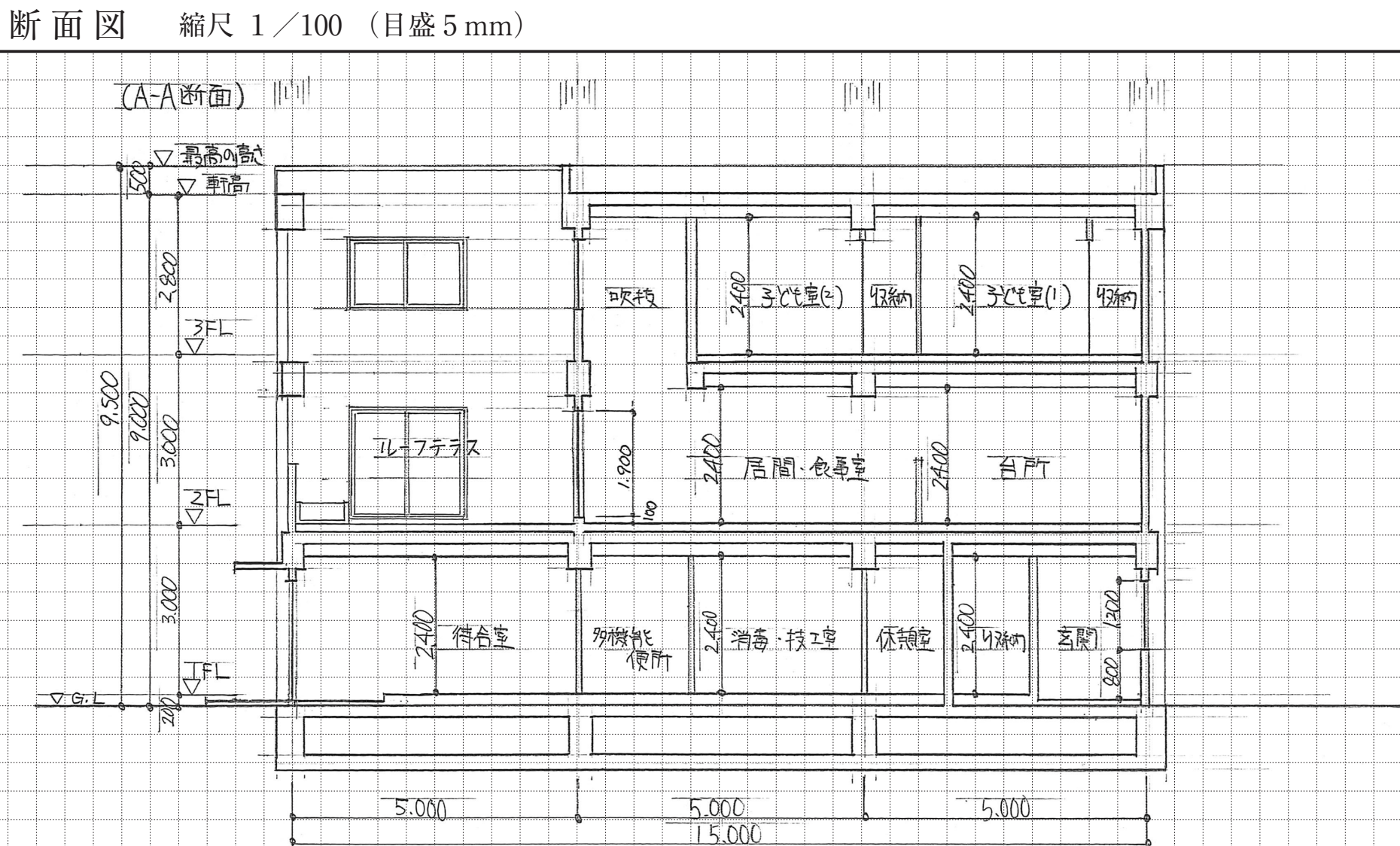
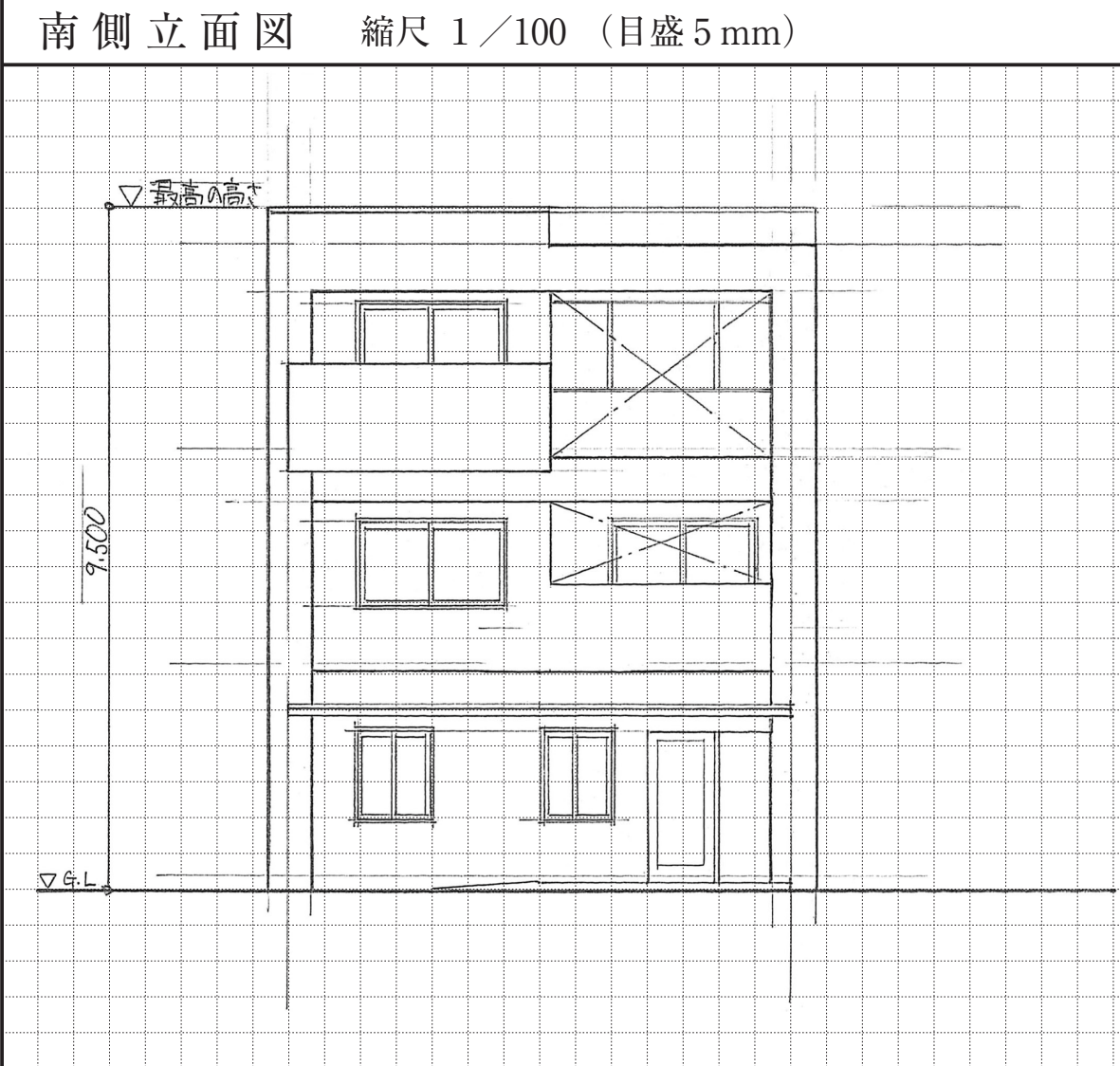
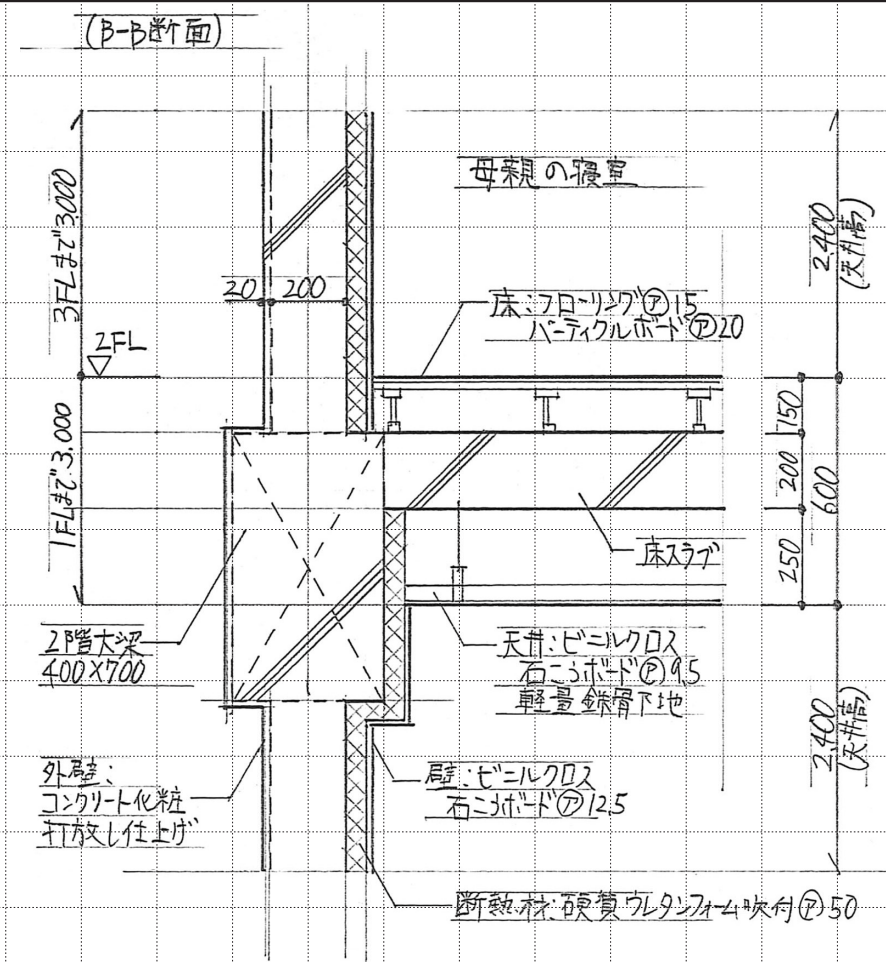




| 面積表         |      |                                          |                       |
|-------------|------|------------------------------------------|-----------------------|
| 敷地面積        |      |                                          | 229.00 m <sup>2</sup> |
| 建築面積        |      | (計算式) 15.00×7.00                         | 105.00 m <sup>2</sup> |
| 1 階         | 全体   | (計算式) 15.00×7.00                         | 105.00 m <sup>2</sup> |
|             | 住宅部分 | (計算式) 3.50×7.00                          | 24.50 m <sup>2</sup>  |
| 2 階         |      | (計算式) 15.00×7.00－(5.00×3.50)             | 87.50 m <sup>2</sup>  |
| 3 階         |      | (計算式) 15.00×7.00－(3.50×2.00)－(3.50×5.00) | 80.50 m <sup>2</sup>  |
| 住宅部分の床面積の合計 |      |                                          | 192.50 m <sup>2</sup> |
| 延べ面積        |      |                                          | 273.00 m <sup>2</sup> |

- 計画の要点等
- ①歯科診療所内部の計画について、工夫した点：
- 歯科診療所内の各所室については、医療スタッフが常時利用する診察室、X線室及び消毒・技工室などのゾーンと患者が利用する待合室、多機能便所などのゾーンを明確に分離することにより、安全及び衛生の面からも患者が安心して治療を受けられるように計画した。各所室についても、医療スタッフの動線がスムーズになるようまとめて配置した。
- ②母親の日常生活上の快適性及び利便性について、工夫した点：
- 母親の寝室は、日常生活上の快適性を保つために、建築物の南西角に配置し、さらに西側及び南側に開口部を設けて、採光・日照・通風が得られやすい快適な空間とした。寝室からのスムーズな利用を考慮して、便所・浴室・洗面脱衣室までの動線を短くした。緑豊かなルーフトラスに隣接させることにより、リラックスできる雰囲気づくりを行った。
- ③耐震性を確保するための構造計画について、工夫した点：
- 建築物の構造計画については、室内の間仕切りが自由に計画でき、かつ、開口部の位置も自由に設定できる長所を持つ柱と梁で構成されるラーメン構造を採用した。基本的なスパン割を5m×7mで計画し、さらに適切な断面寸法の柱や梁を使用することによって、耐震性を確保した。
- ④建築物の環境負荷低減（省エネルギー等）について、工夫した点：
- 環境負荷低減については、ルーフトラスに花壇や植栽を設けて緑豊かな屋上緑化を計画することにより、屋根面における表面温度の急激な上昇を軽減させ、夏期の室内温度上昇の抑制及び冬期の室内の保温など断熱効率の向上による建築物の省エネルギー効果を図った。

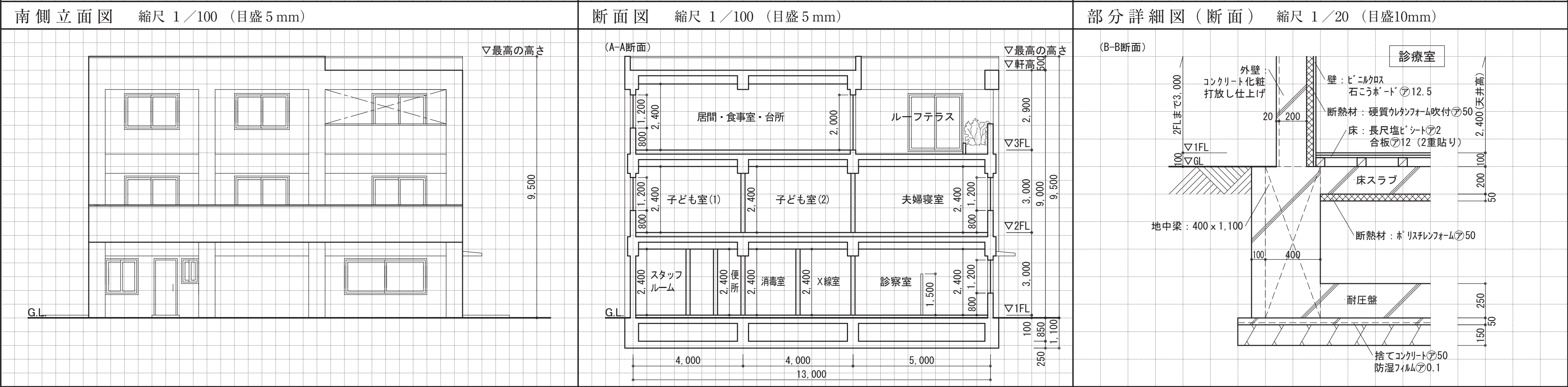
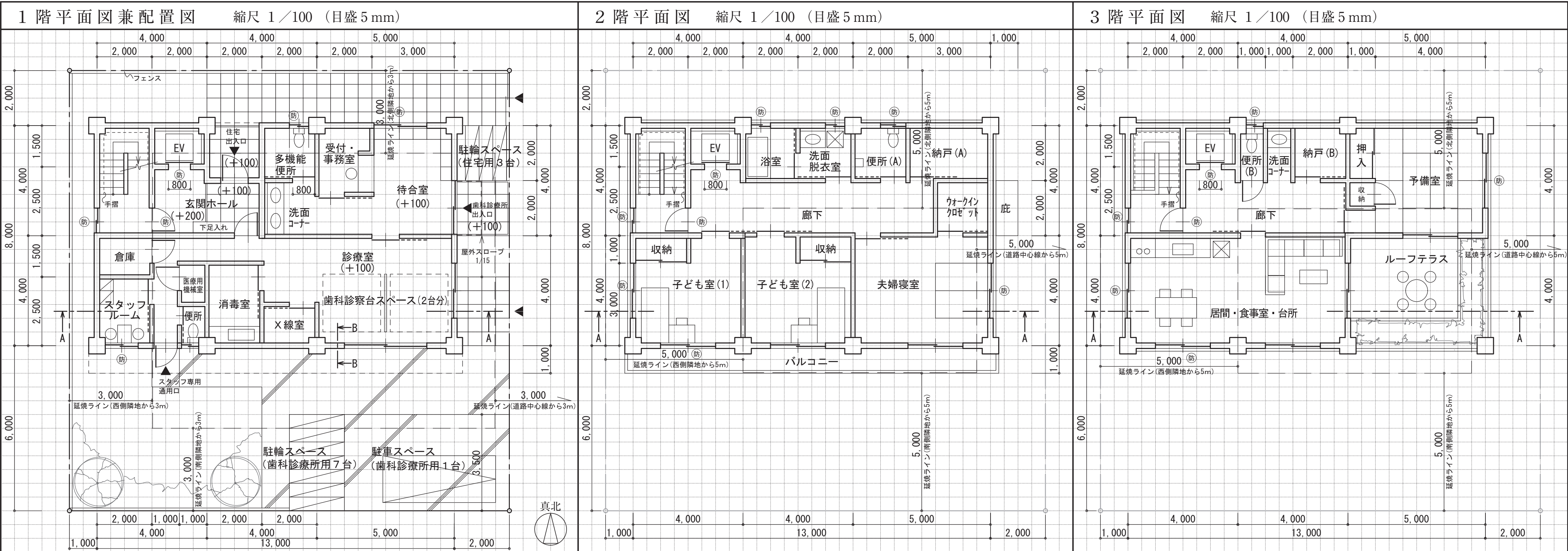
部分詳細図（断面） 縮尺 1/20 (目盛10mm)











| 面積表         |     |                       | 計画の要点等                                                                                                                    |                                    |                       |
|-------------|-----|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|-----------------------|
| 敷地面積        |     | 256.00 m <sup>2</sup> | ①建築物の配置計画について、工夫した点：                                                                                                      |                                    |                       |
| 建築面積        |     | 104.00 m <sup>2</sup> | 建築物の配置は、東側の道路斜線制限を考慮して、外壁後退による緩和措置の計算を行い、道路境界線からの離れ寸法を2mとした。南側は、駐輪・駐車スペースに加えスタッフの通路を確保するため、隣地境界線から6mの離れ寸法とし、広い空間を確保した。    |                                    |                       |
| 床面積         | 1 階 | 全体                    | (計算式)                                                                                                                     | 8.00×13.00－(2.00×2.00)－(1.50×2.00) | 97.00 m <sup>2</sup>  |
|             |     | 住宅部分                  | (計算式)                                                                                                                     | 4.00× 6.00－(2.00×2.00)－(1.50×2.00) | 17.00 m <sup>2</sup>  |
|             | 2 階 |                       | (計算式)                                                                                                                     | 8.00×13.00－(1.50×2.00)             | 101.00 m <sup>2</sup> |
|             | 3 階 |                       | (計算式)                                                                                                                     | 8.00×13.00－(4.00×5.00)－(1.50×2.00) | 81.00 m <sup>2</sup>  |
| 住宅部分の床面積の合計 |     | 199.00 m <sup>2</sup> | ②敷地内のアプローチについて、工夫した点：                                                                                                     |                                    |                       |
| 延べ面積        |     | 279.00 m <sup>2</sup> | オーナー夫婦や子どものプライバシーに配慮し、出入口へのアプローチは、「患者及びスタッフ」と「オーナー夫婦・子ども」の動線が交錯しないように計画した。歯科診療所の待合室への通路には、車椅子利用者に配慮して、段差のない屋外スロープを設けた。    |                                    |                       |
|             |     |                       | ③歯科診療所の計画について、工夫した点：                                                                                                      |                                    |                       |
|             |     |                       | 待合室から多機能便所、洗面への動線については、車椅子使用者が通行できるように幅広の廊下とした。診療室は、患者の心理的負担を和らげるため、開口部のある南側に配置し、明るい空間とした。その他の諸室は、医療スタッフの動線を考慮してまとめて配置した。 |                                    |                       |
|             |     |                       | ④ルーフテラスの計画について、工夫した点：                                                                                                     |                                    |                       |
|             |     |                       | ルーフテラスは、明るく暖かい場所で、食事や休憩など家族が囲らんとできるようにするとともに、プランターなど花や植物の生育に配慮して、太陽光が長時間降り注ぐ東南の角に設けた。                                     |                                    |                       |